

**こんなことあったよ!** のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和5年10月4日(水)

国道7号能代バイパス

木製防護柵塗装イベント開催 編

国道7号能代バイパスの能代港入口交差点～豊祥岱交差点区間に、木製防護柵が設置されています。木製防護柵は設置から11年が経過し塗装がはがれてきています。そのため、7年前から耐久性向上と景観美化を目的に、ボランティアの手で防護柵を塗り替える塗装イベントを始めました。

6度目の開催である今回は、一般参加のボランティアの方の他に、能代市立南中学校の1年生が前回開催から引き続きボランティアに参加してくださいました。

この日は能代市寿域長根のいつく能代南店駐車場に集合し、13時の開会式からスタート。開会式では、当ネットワーク能登会長の挨拶の後、塗装の作業説明・注意事項を確認して、記念写真を撮影。その後、担当の防護柵塗装箇所へと移動して作業を開始しました。

まずは防護柵についている汚れを布できれいに拭き取り、防腐や防カビ・害虫予防効果がある木材保護塗料で、担当の塗装範囲を丁寧に塗り進めます。速く塗り終えた生徒は、周りの生徒を手伝う姿もみられました。

道路側は大人のボランティアが担当し、能代維持出張所の職員及び維持業者に巡視を行っていただきながら、安全に作業することが出来ました。

秋とは思えない気温と強い日差しの中、皆さんのおかげで200メートルほどの木製防護柵を塗装することができました。

参加した中学生からは、「初めての作業なので難しい。」「きれいに塗ることで、まちの雰囲気をよく保てれば。」といった感想がありました。

一般ボランティアの方々からも「塗り進むにつれ楽しくなり、時間を忘れてしまった。」「木都のしろの景観美化に貢献でき、有意義でした。」という声がありました。

来年度以降もこの取り組みを続け、美しい町並みを保っていきたいですね。

文：長崎 勇



作業前に全員で記念撮影



交通量のあるまちなかの国道7号。安全に配慮しながら作業を進めます。今年は担当場所によってローラーを使う板の箇所(上)と刷毛を使う丸太の箇所(下)がありました。



参加記念品は秋田スギのコースター。1枚ごとに木目も色味も異なります。裏表も見比べながら、お気に入りの1枚を選んでいただきました。